

ER（救急総合診療科）

■福田充宏
■大淵尚
■山上浩
■梅澤耕学
■山本真嗣
■廣瀬薫
■岡田信長
■川口剛史
■関根一朗
■高橋雄治
■稲田悠

展望

断らない救急医療を継続する。ER専属スタッフを充実させ、救急科専攻医と初期研修医の教育を向上させる。

診療実績

年間診療実績

救急搬送 12,517人
Walk in 受診者数 31,303人

学術業績

(1) 論文発表

1. 梅澤耕学：Pulmonary artery intimal sarcoma. Am J Resir Crit Care Med. 2014 ; 190(12) : e67-8.

(2) 著書

山上浩：ERマガジン 特集実戦で使えるERのマイナー CBR, 2014年,
・編集
・尿管結石 (p535-541)
梅澤耕学：ERマガジン 特集実戦で使えるERのマイナー CBR, 2014年, p463-5
※皮膚科 総論

(3) 学会発表

1. 藤田大樹：当院ERにおける神経系アンダートリアージに関する検討. 第19回 日本脳神経外科救急学会, 富山, 2014, 1.
2. 奈良唯唯子：アンダートリアージ, オーバートリアージの結果から見た院内トリアージの課題. 第17回日本臨床救急医学会総会・学術集会, 栃木, 2014, 5.
3. 梅澤耕学：高齢者心肺停止症例の医療資源投入のあり方について. 第42回日本救急医学会総会・学術集会, 福岡, 2014, 10.
4. 梅澤耕学：三浦半島地区における高齢者院外心肺停止症例の現状. 第42回日本救急医学会総会・学術集会, 福岡, 2014, 10.
5. 山本真嗣：地域に根ざした救命救急センターにおける外傷患者の検討. 第42回日本救急医学会総会・学術集会, 福岡, 2014, 10.
6. 川口剛史：心血管系の症状で当院を受診したオーバー／アンダートリアージ症例の検証. 第42回日本救急医学会総会・学術集会, 福岡, 2014, 10.
7. 関根一朗：当院救急外来におけるトリアージの現状. 第42回救急医学会総会・学術集会, 福岡, 2014, 10.
8. 稲田悠：Factors associated with delayed diagnosis of pulmonary embolism . society of hospital medicineラズベガス, 2014, 3.
9. 稲田悠：急性肺塞栓症の診断遅延に関連する因子の検討. 日本内科学会総会, 東京, 2014, 4.
10. 稲田悠：Subacute Bacterial Endocarditis Associated with Proteinase-3-Antineutrophil Cytoplasmic Antibody Positive Serology Diagnostic Error In Medicine. アトランタ, 2014, 9.
11. 稲田悠：血液浄化療法が奏功したメタノール中毒

の一例. 日本救急医学会総会, 福岡, 2014, 10.

12. 寺根亜弥: 突然発症の胸背部痛で来院し, 心電図変化を認めた横隔膜ヘルニア胃嵌頓の一例. 日本救急医学会総会, 福岡, 2014, 10.